

12 高齢者福祉の充実



現状

本村では 2021 年に策定した椎葉村第 9 次高齢者保健福祉計画・椎葉村第 8 期介護保険事業計画に基づき高齢者福祉に取り組んできました。具体的には下記のような種類の介護保険サービスを提供してきました。

【提供中の介護保険サービス】

(1) 居住サービス

- (1)-1 訪問介護
- (1)-2 訪問看護・介護予防訪問看護
- (1)-3 居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導
- (1)-4 通所介護
- (1)-5 通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション
- (1)-6 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護
- (1)-7 福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与
- (1)-8 特定福祉用具購入費・特定介護予防福祉用具購入費
- (1)-9 住宅改修費・介護予防住宅改修
- (1)-10 特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護
- (1)-11 居宅介護支援・介護予防支援

(2) 地域密着型サービス

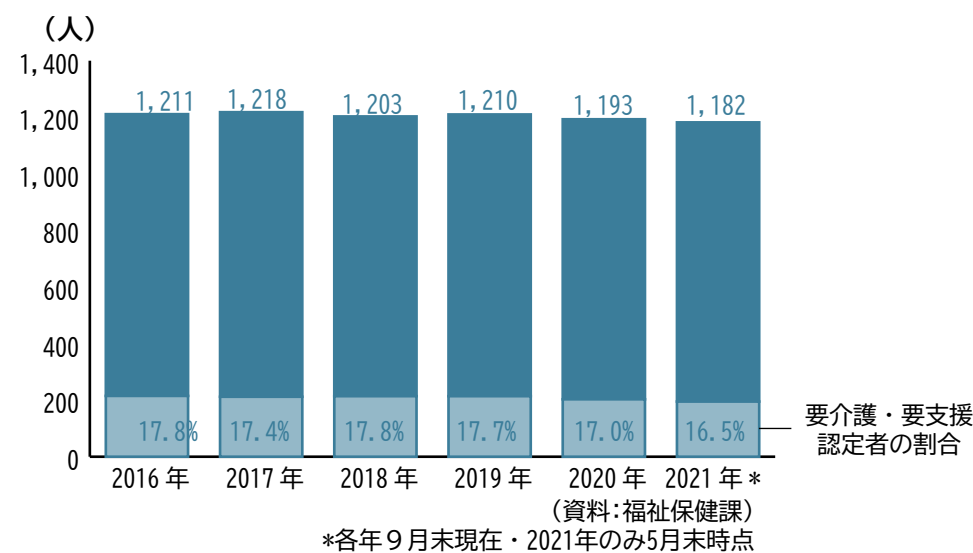
- (2)-1 地域密着型通所介護

(3) 介護保険施設サービス

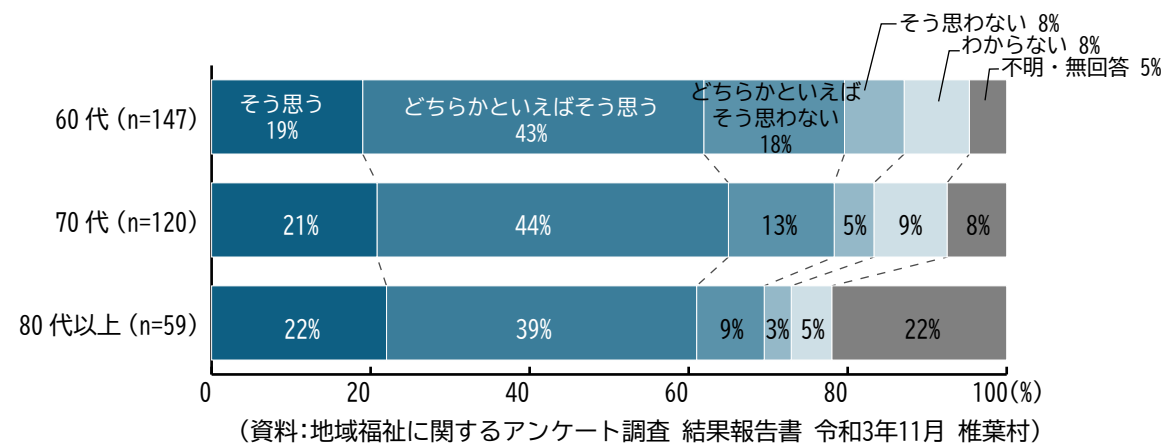
- (3)-1 介護老人福祉施設
- (3)-2 介護老人保健施設
- (3)-3 介護医療院
- (3)-4 介護療養型医療施設 *

* 現在経過措置期間で 2024 年 3 月まで存在するが、以後 (3)-3 に転換する予定。

【65歳以上人口に占める要介護(支援)認定者の割合推移】



【「困ったときにもすぐに相談できる」と思っている人の割合】



目標

高齢者が支援や介護が必要になっても住み慣れた地域で、心のふれあいや支え合いの中で安心して生活できる環境をつくりまします。* 予防に関する取組については分野「13. 健康づくり」で取り扱います。

数値目標	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)	備考
「困ったときもすぐに相談できる」と答えた60代の割合	61.9%	71.9%	前項掲載の「地域福祉に関するアンケート調査」より「困った時にすぐに相談できるか」という質問に対して「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した人の割合。
「困ったときもすぐに相談できる」と答えた70代の割合	65%	75%	
「困ったときもすぐに相談できる」と答えた80代の割合	61%	71%	
65歳以上人口に占める要介護(支援)認定者の割合	17%	17.49%	
住民主体の「集の場」の数	3カ所	5カ所	
認知症サポーター養成講座年間参加延べ人数	16人	50人	

関連する個別計画

椎葉村第 9 次高齢者保健福祉計画 (期間:2021~2023 年度)
 椎葉村第 8 期介護保険事業計画 (期間:2021~2023 年度)
 第 2 期椎葉村地域福祉計画 (期間:2022~2026 年度)
 第 1 期椎葉村地域福祉活動計画 (期間:2022~2026 年度)

行動指針

(1)~(9) について: 地域共生社会の実現に向けて、自助・互助・共助・公助による全世代地域包括ケアシステムの推進体制を構築します。また、住民ニーズに応じたサービス提供のため包括ケア会議を通して関係者による課題共有と対応方針の決定を行います。

(1)(5)(6)(8) について: 交流拠点施設等の有効活用や多様な事業の展開により、集の場を増やしていくことで、高齢者自身が地域づくりの担い手として社会参加できる循環型の支え合いの仕組みの構築を目指します。

(5)(6)(8) について: 認知症サポーターを養成し、研修を提供することでスキルアップを支援します。今後新たに、認知症の方が集い、自らの体験や希望・必要としていることを主体的に語り合う本人ミーティングを実施します。また、認知症の方が利用できるサービスの流れを体系的に示した「認知症ケアパス」も新たに作成します。

チーム



施策の体系

自分でできることが維持できる（減らない）

自助を促すための事業です。高齢者が自分のことは自分でできる状態を維持できるよう支援します。

	2020 年度 （実績）	2026 年度 （目標）
65 歳以上の人口に占める 要介護（支援）認定者の割合	17%	17.49%

できないことを手伝ってもらえる

	2020 年度 （実績）	2026 年度 （目標）
「困ったときもすぐに相談できる」と 答えた 60 代の割合	61.9%	71.9%
「困ったときもすぐに相談できる」と 答えた 70 代の割合	65%	75%
「困ったときもすぐに相談できる」と 答えた 80 代の割合	61%	71%

(1)生きがいを感じられるよう支援します。

【主な事業】
生きがい活動支援通所事業 敬老行事関係事業
いきいきサロン事業
シルバー人材センター運営助成

住民主体の 「集の場」の数	2020 年度 （実績）	2026 年度 （目標）
	3 力所	5 力所

(2)健康管理（セルフケア）を支援します。

【主な事業】老人クラブ活動等社会活動促進事業 生活管理指導事業

(3)物理的な環境を支援します。

【主な事業】高齢者住宅改造助成事業

(4)適切な道具・備品の導入を支援する。

【主な事業】高齢者等介護用品購入費助成事業 補装具給付事業

(5)できないことを支援しつつ、できることを減らさないように支援します。

【主な事業】軽度生活支援事業

(6)家族(介護者)負担を軽減します。

【主な事業】シーツ貸与事業 移送サービス事業 配食サービス事業 介護給付事業
高齢者バス乗車券補助事業 在宅寝たきり老人介護手当支給事業
高齢者及び障がい者タクシー利用補助金交付事業
寝具洗濯乾燥消毒サービス事業

(7)介護施設の負担を軽減します。

介護人材の確保・育成、介護ロボットの情報収など介護者の負担軽減を検討します。

(8)地域の理解と協力を促します。

【主な事業】集落支援員事業

認知症サポーター 養成講座年間参加 延べ人数	2020 年度 （実績）	2026 年度 （目標）
	16 人	50 人

(9)その他の取り組み

【主な事業】家族介護支援事業 緊急通報体制等整備事業